

高等教育活性化シリーズ 145(通算 425 回)

2009 年 6 月 30 日 (火)

“書く力”は“考える力”——

学士課程教育における「論理的思考力」の育成

高等教育活性化シリーズ 146(通算 426 回)

2009 年 7 月 3 日 (金)

機能別分化の鮮明化——

教養型大学・学部のコネプトと教学展開

“書く力”は“考える力”——

学士課程教育における「論理的思考力」の育成

～自ら学ぶ力/学びレポート/ラーニングアウトカムズ/国際的通用性ある知的要素～

※ エクスポジトリー・ライティングの仕込み/日本的思考と戦略的活用/エクスポジトリー・スキルの促進

※ 書く力考える力を育む/全学的支援教育の構築/学士課程カリキュラムマップ

● 講師陣 ●

加瀬 豊司 氏 / Ph.D. in American Studies、四国学院大学名誉教授

井下千以子 氏 / 桜美林大学 心理・教育学系教授、
基盤教育院アカデミックキャリアガイダンスディレクター

2009 年 6 月 30 日 (火) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

機能別分化の鮮明化——

教養型大学・学部のコネプトと教学展開

～成長する学生と大学/21C グローカル市民とは/プログラムの実際～

※ 脱“教養教育”としての現代教養/ホスピタリティ教育/新しい大学・大学院のパラダイム

※ [玉川大]「全人教育」を実現する「21世紀プロジェクト」/K-12/FYE/プロジェクト型P/リサーチP

※ [東北学院大]“経験”の始原的意味/学生像の変容と教育の可能性/教養教育型大学への挑戦と実際

※ [恵泉女学園大] 専門性を持つグローバル市民の育成/国内外でのフィールドスタディ・サービ斯拉ーニング

● 講師陣 ●

佐藤久美子 氏 / 玉川大学リベラルアーツ学部長

山本 哲士 氏 / 東京藝術大学 客員教授
ジュネーブ国際学術財団「F・EHESC」ジェネラルディレクター
国際ホスピタリティ研究センター ジェネラルディレクター

佐々木俊三 氏 / 東北学院大学 教養学部長

大橋 正明 氏 / 恵泉女学園大学大学院平和学研究科長、前・人間社会学部長

2009 年 7 月 3 日 (金) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



[参加要領]

日時 : 高等教育活性化シリーズ 145 「学士課程教育における「論理的思考力」の育成」
 2009年6月30日(火) 10:30~16:40
 高等教育活性化シリーズ 146 「教養型大学・学部のコンセプトと教学展開」
 2009年7月3日(金) 9:40~16:50

会場 : 剛堂会館(明治薬科大学)会議室 (東京・麹町) ※両日程、同会場です
 東京都千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362
 (東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口から徒歩4分、JR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口から徒歩10分)

参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び収録カセットテープ送付)
高等教育活性化シリーズ 145 学士課程教育における「論理的思考力」の育成	40,000円 (消費税込)	41,000円(送料、消費税込)
高等教育活性化シリーズ 146 教養型大学・学部のコンセプトと教学展開	41,000円 (消費税込)	42,000円(送料、消費税込)


※テキスト代、井下千以子著『大学における書く力考える力—認知心理学の知見をもとに』東信堂、2008.を含む

※参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。
 受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替: 00110-8-81660
 口座名 (株)地域科学研究会
 (なお、ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒ <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

お申込み・お問合せ  地域科学研究会 東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
 高等教育情報センター TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2009年 月 日

- 高等教育活性化シリーズ 145 学士課程教育における「論理的思考力」の育成
 当日参加 メディア参加
 ■ 高等教育活性化シリーズ 146 教養型大学・学部のコンセプトと教学展開
 当日参加 メディア参加 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

連絡部課・担当者 _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 請求書(要 不要)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時 間	講 義 項 目
10 : 30) 12 : 30	<p>□ 学士課程教育の「国際的通用性」 ～「論理的思考力」としての“エクスポジトリー・ディシプリン”～ Ph.D. in American Studies 加瀬 豊司</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションの現実と再構築 <ol style="list-style-type: none"> (1) 発想型アメリカ言語文化“帝国”主義 (2) 手段としての伝達力 (3) エクスポジトリー・ライティングの“仕込み” 2. 国際的通用性からみた日本的思考様式の功罪 <ol style="list-style-type: none"> (1) 論理性を損ねる原因～意見・報告・引用の混同 (2) 批判的省察(リフレキシビティ)は必要悪? (3) インタラクションの再検討～“往復型”双方向教育の可能性と限界 3. バイリンガル発信の戦略的活用 <ol style="list-style-type: none"> (1) 日本語によるキーワードディングは本物志向 (2) 異文化間でのイニシアティブの育成 (3) “クリティーク”の国際パワー 4. 3つのエクスポジトリー・スキル～国際的に有用な知的要素の促進 <ol style="list-style-type: none"> (1) <プレイシー> 要約見出しとパラグラフ展開 (2) <クリティーク> 評価の枠組みの構築 (3) <ディスカッション> 論理思考の実践的リマッピング <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
13 : 30) 15 : 00	<p>□ 「書く力考える力」を育む学士力養成の本格展開 ～全学的支援教育構築とFD/ラーニングアウトカムズの明確化～ 桜美林大学 井下千以子</p> <p>A. 理論的な内容を中心に</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 書く力考える力と学士力 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学士課程教育と知識 (2) 学習観の転換、発達観の転換、デザイン観の転換 (3) 自ら学ぶ力と「メタ認知」 2. これまでのライティング教育の何が問題か <ol style="list-style-type: none"> (1) 文章表現教育の歴史と初年次教育の歩み (2) ライティング教育の3要素と4類型 (3) 普及期の初年次教育の課題 (4) 進展の鍵は「ディシプリンと教養」 (5) 研究方法の問題 3. ライティング方略からカリキュラムを考える <ol style="list-style-type: none"> (1) 2つのライティング方略 (2) 大学での学びと「知識の再構造化」 (3) 「転移」につながる学習環境のデザイン 4. 学士課程カリキュラムマップ <ol style="list-style-type: none"> (1) Writing Across the Curriculum (2) カリキュラムマップと授業アメーバ (3) 学生の思考の進展とアイデンティティの発達に向けて (4) 専門教養科目(enriched major)のデザイン <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>
15 : 10) 16 : 40	<p>B. 実践的な内容を中心に</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「学びレポート」とラーニングアウトカムズの明確化 <ol style="list-style-type: none"> (1) 研究レポートと学びレポート (2) 簡易型ラーニング・ポートフォリオの活用 2. 考えるプロセスを支援する <ol style="list-style-type: none"> (1) A4用紙1枚にまとめる (2) ピアレビューの相乗効果と限界の認識 (3) 議論することを支援する 3. 学びのプロセスを支援する <ol style="list-style-type: none"> (1) 初年次の学生の学びを支援する (2) 専門教養科目での学びを支援する (3) 現職を持つ社会人の学びを支援する 4. 全学的支援教育構築とFD <ol style="list-style-type: none"> (1) 学士課程教育のデザイン～研究大学と教養大学を例に (2) ライティングセンターの機能と学習支援センターの役割 (3) ライティング教育を基点としたFD活動の展開 (4) 深い学びをめざして <p style="text-align: right;">(質疑応答)</p>

時 間	講 義 項 目
9:40 } 11:10	<p>□ [玉川大学]「全人教育」を実現する「玉川リベラルアーツ教育」 ～人間力を磨くプロジェクト型オン・デマンド教育の実践～ 玉川大学 佐藤久美子</p> <p>1. カリキュラムのスパイラル的構築－全学生参加型1年次プログラムの実際 (1) 「12の教育信条」を実現する人材育成目標 (2) 全学生参加型一年次教育 (FYE) の実践 (3) 1800人による第9演奏会/200人による箱根フィールドワーク</p> <p>2. プロジェクト型プログラムの実践例－地域連携・融合プログラム (1) 少人数の発展的プログラム：英語サマースクール・函館教室プロジェクト等 (2) 恐怖心を乗り越え、チームワークを学ぶアドベンチャー・プログラム</p> <p>3. 研究所と連携するリサーチ・プロジェクト (1) COE「全人的人間科学プログラム」/GCOE「社会に生きる心の育成プログラム」 (2) COE/GCOE研究に係る学部学生の役割とリサーチの成果 (3) 一例：赤ちゃんラボにおける学部生のプロジェクト研究</p> <p>4. K-12・学園教育との連携を促進する伝統的教育と今後の展望 (1) 留学生を支える日本語教育プロジェクト (2) 伝統の労作教育・担任制・三位一体教育 〈質疑応答〉</p>
11:20 } 12:50	<p>□ 脱“教養教育”としての現代教養大学への飛躍 ～21世紀世界における人生と仕事：プライベートなライフスタイルと大学ビジネスの新形成～ 東京藝術大学/ジュネーブ国際学術財団 山本 哲士</p> <p>1. 根源的な時代への大転換 (1) 大学と経済（企業）との分離システムの終焉 (2) 商品・サービスの20世紀経済から21世紀＜資本＞経済へ (3) 〈社会〉システムから〈場所〉環境へ</p> <p>2. 〈教育〉中心主義の錯覚 (1) 21世紀における「教育」の意味は20世紀とは異なる：教育のオルタナティブ (2) 情報データ主義（インターネット）を超える「教養」＝文化資本の意味 (3) 研究生産と教育の非分離システム</p> <p>3. 21世紀のホスピタリティ教育の可能性 (1) 古典と最先端教養の相互性 (2) 場所＝地球を考える人材育成 (3) ホスピタリティの文化・環境・経済の教育：ホスピタリティ・ビジネスのための大学 (4) スイス、ローザンヌ・ホテル大学にみるホスピタリティ教育</p> <p>4. 超領域専門研究と教養大学 (1) 文化資本経済と場所環境づくり (2) 非分離科学と述語技術の文化 (3) 新しい大学・大学院の文化生産システム 〈質疑応答〉</p>
13:50 } 15:20	<p>□ [東北学院大学] 経験の意味と学生像の変容 ～文理融合型「教養学部」による「教養教育型大学」への挑戦と実際～ 東北学院大学 佐々木俊三</p> <p>1. 学生像の変容 (1) いくつかの実際例から (2) 学生の大衆化による教育の変質 (3) 匿名化の問題と生活形式の全体主義</p> <p>2. 経験の問題 (1) 経験の喪失と学生像 (2) 経験の始原的意味について (3) 経験と教育の可能性</p> <p>3. 「教養学部」の教育の展開 (1) 「教養学部」の歴史と改組 (2) 改組の必要性和地域社会 (3) 「地域社会と教育を考えるフォーラム」へ 〈質疑応答〉</p>
15:30 } 16:50	<p>□ [恵泉女学園大学] 専門性を持った教養教育によるグローバル市民の育成 ～国内外での体験学習：フィールドスタディとコミュニティサービスラーニング～ 恵泉女学園大学 大橋 正明</p> <p>1. 恵泉女学園大学の体験学習 (1) 恵泉の三本柱～聖書/国際/園芸 (2) 専門科目としての体験学習 (3) 体験学習の構成と特長</p> <p>2. フィールドスタディ (1) 短期フィールドスタディ～8日～2週間 (2) 長期フィールドスタディ～タイでの3期5カ月</p> <p>3. コミュニティサービスラーニング (1) 構成と展開 (2) 実施のプロセス</p> <p>4. その他 (1) 他大学との協同～学部教育における海外体験学習研究会 (2) 特色GP：教養教育としての「体験学習」「生活園芸」の主要な成果 〈質疑応答〉</p>